



今月の表紙は、7月12日(日)に不動ヶ滝園地で開催された荻不動ヶ滝夏祭りでの流しそうめんの写真です。昨年から復活した流しそうめん、子どもたちは、集中力を発揮し、とっともおいしそうに食べる姿に、写真撮影をやめて一緒に食べる楽しみました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139



## シルバー人材センター 陶芸クラブ

皆さん！こんにちは！今回私たちの陶芸クラブを紹介します。この教室はシルバー人材センターの中にあり、総人数34人で結成されています。月曜日から金曜日まで、各班に分かれて、諸先輩の指導のもとで和気あいあいと陶芸を楽しんでいます。

また、手先を使って作品を作成するため、脳の活性化になり、指先がよく動くようになったと喜んでいる人もいます。一つ一つの作品が挑戦であり、失敗の連続から思わぬ素敵な作品ができることが

あります。「すべてを自分の手で作り上げる」ことが陶芸を始め憧れ夢見ることではないでしょうか。年に2回町民会館で春と秋の文化祭があり、作成した作品の成果の発表の場として出展しています。世界で一つしかない自分で作った花瓶に花を生けたり、カップにコーヒーを入れて飲んだりすると、格別です。

今年は各自作成した抹茶茶碗でお茶会を予定しています。

問合せ 福澤 良行  
☎62-1696

### サークル紹介

この指  
とーまれ

114



【手芸】

杉浦ふみ子 さん

## みんなの作品展!

今月の作品は、春の文化発表会からのセレクトです。



【着付】

左：平野美子 さん 右：鈴木知里 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで！)。

## 甲子園の方言

### 「げな」

夏といえば、甲子園。でも、子どもたちの夏は、こんなに近くありました……

「ほだほだ。ソフトボール、勝ったげなじゃん」

「2回戦で負けちゃったけどね……」

「そうそう。ソフトボール、勝ったそうだね」

(後略)  
という意味です。

「げな」は、この地方では、伝聞を表す助動詞として使われます。これは、「悲しげ」とか「ありげ」のように外からみた様子を表すときに使われる「げ(気)」に、指定の助動詞「だ」の連体形「な」が付いたものですが、「げそうだ」も古くは「そうな」といったように、この地方では今も「げな」が終止形です。

ちなみに、「てんでん手毬」で「てんでん手毬」で始まる童謡「毬と殿様」にも、最後に「紀州はよい国 日のひかり 山の蜜柑(みかん)になったげな 赤い蜜柑(みかん)になったげな」とあります。(文・つひな)



# 青春トークリレー

△△第197走者△△

いしかわ めぐみ  
**石川 恵** さん

驚田区在住 23歳 フリーター  
身長 157cm B型  
好きなタイプ テンションの高い人  
好きな芸能人 浅野忠信

私には、誰にも負けないくらい好きなものがあります。それは、太鼓です。私は小学校から約10年間、部活で太鼓をたたき、卒業後は趣味として太鼓を続けていました。しかし昨年、和太鼓零というチームに会い、再び太鼓の楽しさ、なにかに一生懸命打ち込めることの素晴らしさに気付きました。私には、共に汗を流し、涙し、笑い合える最高の仲間がいます。大好きな太鼓や音楽を通じて出会ってきたすべての人たちに感謝し、すべての出会いを財産に、私は一生誰にも負けない太鼓好きでいたいと思っています。

11月には町民会館さくらホールでコンサートを行います。熱い太鼓の鼓動を感じていただけるよう、精一杯がんばりたいです。

▼暑さでしょんぼりしてしま  
す。ぎらぎらの太陽に向かって  
咲くひまわりのように、可憐に  
咲くアサガオのように、元気に  
花を咲かせたいですね。たくさ  
んお水をあげなくちゃ。(M)

一度も：)というので、家  
族4人でひーばーのお墓参りを  
してきました。なにやら神妙に  
手をあわせる息子の姿がちょっ  
ぴり頼もしくもありました。亡  
くなったひーばーも喜んでい  
ることでしょう。お盆にもまた家  
族でお墓参りに行きたいと思っ  
ています。(R)



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



**博士**「きょうは『燃やすごみ』ステーションにやって来たのじゃ。」  
**Q**「博士、『燃やすごみ』の袋を持ち上げて何してるんですか？」  
**博士**「ふむふむ、この袋はちよつと重いな。」  
**Q**「ん？、重いと何か？」  
**博士**「重いということとは、生ごみの水切りがちゃんとされてない可能性があるのじゃ。生ごみを出すときの基本、覚えておるかな？」  
**Q**「はい。燃やすごみで出すときは『ギューっ」とひと絞り』してからですな。」

**燃やすごみにいって!**  
**教えて**  
**まもる博士!**



**博士**「そうじゃ。また、今の季節はすいかやメロンなどがおいしい季節じゃな。残った皮は広げて天日干ししてから出すと水分がぐつと減るんじゃよ。」  
**Q**「そのほかに私にできそうなことありますか？」  
**博士**「そうじゃな。『乾いた生ごみは、最初から濡らさない(生ごみに余分な水分を吸わせない)』ことじゃ。野菜などの使えない部分、例えば玉ねぎの皮、ナスやニンジンのへた等は、はじめに切り分けてから洗うようにしてほしいのじゃ。」

あとは、流して生ごみを入れる三角コーナーは、皿やトレイを敷き、流し台の上に置くなど水がかからないような工夫をしてほしいのじゃ。」  
**博士**「幸田町は、燃やすごみの処理を岡崎市に委託しているのじゃ。昨年度はその処理に約1億1千万円もかかっているのじゃ。処理費用は量(重さ)によって決まるから、量(重さ)が増えればその分町の負担が増えてしまうんじゃよ。だから市民のみなさんには今後も『燃やすごみ減量』にご協力をお願いしたいのじゃ。」



**Q**「そっか。そうすれば生ごみに余分な水分を吸わせず、その分減量できますね。でも、『燃やすごみ』の重さを減らすと何かいいことがあるんですか？」  
**博士**「岡崎市は、燃やすごみの処理を岡崎市に委託しているのじゃ。昨年度はその処理に約1億1千万円もかかっているのじゃ。処理費用は量(重さ)によって決まるから、量(重さ)が増えればその分町の負担が増えてしまうんじゃよ。だから市民のみなさんには今後も『燃やすごみ減量』にご協力をお願いしたいのじゃ。」

**編集者の**  
**ちごと**  
**ひらひら**



▼もう8月ですね。去年はクワガタを見つけたときにかぶれの木に触ってしまったって、顔がかぶれてみっともなかったのが今年はおかぶれないように、夜の山に入るときは気を付けます。  
夏休みといえば宿題。最初に宿題の計画を立てるのですが毎年計画を立てて満足して終わりです。皆さんはどうでしたか？さて今月も家族の会話を紹介します。冬に息子にとってひいおばあさん(ひーばー)が亡くなりました。車で出かけた帰りに、ひーばーのお墓の近くを通ったときです。息子「お母さん！」母「なあに？」息子「近くまで来たで、ひーばーのお墓参りしていったらどうかな？」母「えっ！(そーいえば、まだ一度も：)」ということ、家族4人でひーばーのお墓参りをしてきました。なにやら神妙に手をあわせる息子の姿がちょっぴり頼もしくもありました。亡くなったひーばーも喜んでいることでしょう。お盆にもまた家族でお墓参りに行きたいと思っています。(R)